

附中だより 3月号

令和6年3月22日

兵庫教育大学附属小学校・中学校

校長 富田 明徳

第40回附属中学校卒業式が挙行されました

3月8日(金)兵庫教育大学加治佐学長、本校PTA栗田会長、附属幼稚園森田園長の臨席を賜り、第40回卒業式を挙行了、79名の3年生が本校を巣立ちました。今回は校長祝辞の一部修正をご紹介します。



「〈前略〉卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。本日みなさんは、中学校三年間の課程を終え、義務教育九年間の課程を修了いたします。

〈中略〉これまで深い愛情をもって、慈しみ育ててくれたご家族の皆様をはじめ、多くの方々のご支援にも思いを寄せてください。〈中略〉卒業する皆さんに、お伝えしたいことがあります。一つめは、「自分に自信を持つ」ということです。皆さんは入学以来、ずっと新型コロナウイルス感染症に大きな影響を受け中学校生活を過ごしてきました。〈中略〉その間、ずっと厳しい様々な制限の中で、工夫しながら日々の学校生活や体育大会、友嬉祭を通して立派に成長しました。それらの制約に立派に対応して成長した自分に自信をもって頂きたいと思えます。人は、課題にぶつかった時にこそ、より深く真剣に考え、人間的に大きく成長します。

二つ目、多様な考え方を受け入れられる柔軟性です。ウクライナでの紛争が始まってすでに二年です。中東でも戦いが起き大変悲惨な状況が続いて、これまでの歴史や文化が絡んで簡単には解決できない状況になってしまっています。これから皆さんが社会に出た時には、様々な素晴らしい出会いと共に極めて解決困難なことにも遭遇するでしょう。

生成AIが急速に発達する中で、単なる知識や技能だけでは役に立ちません。グローバル社会の中で、自分の考え思いを的確に主張・表現しつつ、相手も尊重し折合いをつける柔軟な能力が一層大事になっています。自分の価値観のみが正しいと主張することでは解決は望めません。全国から先生方が集う、本校の多様性は、私はその一助となると確信しています。多様な考え方を受け入れられる柔軟性を養ってください。

最後に、好奇心をもって学び続ける人になってください。学校生活は人生のわずか一部です、社会に出てからの方がずっと長いです。新しいことにも果敢に挑戦する学び続ける人になってください

これまでの人類の長い歴史の中で、大きな環境変化にも弾力的に対応できた種だけが、進化して生き残ってきたのです。皆さんがこれから出ていく未来は、私たちが想像もできない世界になる事でしょう。そのような世界で生き抜くためには学び続けることがもっとも重要ではないでしょうか。

さて、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。私たち教職員一同精一杯頑張ってきたつもりですが、特に最後の一年間は様々な点で不安を感じさせ、至らぬ点多々あり、残念なお気持ちにもなられたことも有ったと思います。校長として大変申し訳なく思います。

しかし、教職員の取組に対し、数多くの保護者の皆様方から、ご理解とご協力、頂いた暖かい叱咤激励のお言葉が、どれほど私たちの力になったかしれません。この場をお借りして深く、深く、感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

今後とも、大学の多大なご支援もいただきながら、生徒の健全な成長に資する学校運営に努めてまいりますので、何とぞご理解とご協力をいただき、お力添えをいただきますよう重ねてお願い申し上げます。それでは、輝かしい未来に向かって卒業するみなさん、ご卒業を心よりお祝い申し上げ、私の式辞といたします。」

令和六年三月八日

兵庫教育大学附属中学校長 富田明徳



PTAの皆さんによる花道準備、ありがとうございました。

令和5年度附属中学校立志式

2月27日(火)兵庫教育大学附属中学校立志式を開催いたしました。子どもから成人へと成長していく過程で、責任ある行動を取る必要のある満14歳を一つの節目として「立志式」を行い、第二学年が自覚を持って、自己の人生を切り開いていく決意を表す機会とし、またそれを祝い、励まそうとするものです。



今年度は、本校卒業生のプルゴルファーの蟬川泰河選手を記念講演会講師としてお招きし、大会の合間を縫って調整の上、対面で行うことができました。以下生徒による立志宣言です。

【私たちの決意】生徒代表(生徒会会長)

「これまで私たちのために多くのことをしてくださった家族を始めとするすべての方々への感謝の気持ちを忘れず、自分たちのさらなる成長を約束するために、一人ひとりが十分に力を発揮し、希望を持って生きていける社会を築くことを目指して、次のことを決意し行動します。」

【決意表明 1組「凡事徹底」】代表

私たちは今まで、学級目標である「凡事徹底～We can do it～」をモットーに体育大会、友嬉祭等の学校行事はもちろん、学年での校外学習、修学旅行プロジェクトに、普段からの勉強や部活、掃除まで、当たり前前を当たり前前と頑張ってきました。これから、私たちは受験の季節に入ります。将来の夢を具体的に、何事にも興味を持ち、常に自分を成長させていながら、凡事徹底を心がけていくことを誓います。

【決意表明 2組「雲外蒼天」】代表

「追いかけ続ける勇氣さえあれば、夢は必ず叶います。」今や世界的な人気を誇るディズニーの創始者、ウォルトディズニーはこんな言葉を残しました。私たちは夢を追い、互いに切磋琢磨しながら駆け抜けていきます。部活動、イベント、人間関係。ここまで進んできた私たちを、どこかで挫折が待っているようにも。試練という雲の先には、美しい青空が広がっているように。小さな雨粒が、やがて石を穿つように。全てを乗り越え、支えてくださる方々への感謝を忘れずに、私たちは幸せな春へと、将来を見据え、勇往邁進していくことをここに宣言いたします。

【決意表明 3組「冷暖自治」】代表

私たち2年3組の四字熟語は冷暖自治です。冷暖自治には挑戦してみなければわからないという意味が込められており、私たちに挑戦の大切さを教えてくれます。私たちはこれまで部活動や勉強、友嬉祭などの行事に励んできました、これらを通して周りの人と協力することの大切さを学びました。これから私たちは受験を経て高校生になっていきます。高校ではこれまでの環境とは違い、わからないことが今まで以上に増えていきます。また中学校生活とは違い、周りの人と協力するだけではなく、自分自身で選択していくことが求められるようになります。そんな中でも私たちは目標を見失わずに努力し続けます。そして、それだけには留まらず、冷暖自治を肝に銘じ、挑戦を忘れずに、社会人に向けての大きな一歩を踏み出していきます。



附属学校保健委員会を開催しました

先月、令和5年度附属学校保健委員会を開催いたしました。幼小中学校の全ての学校医、学校歯科医、学校薬剤師の先生方が一堂に会し、本年度の定期健康診断結果や保健室への来室状況、学校事故災害状況等の統計資料について、附属学校園の管理職や養護教諭、保健主事、栄養教諭、体育主任教諭と幼児・児童・生徒の生活や健康についても意見交換をしました。また、生活習慣アンケートについても合同分析と協議をしました。先生方からは、「コロナ感染症は亡くなる方は減ったがまだまだ怖い感染症である」「マスクも重要であるが睡眠時間をしっかりとるなど生活習慣を良くすることで免疫力を高めることが重要である」「自分の体を自分で守るという意識を身に付けさせる必要がある」などの意見が出されました。ご家庭でも生活習慣の改善について意識的に取り組んでいただけたらと思います。



終わりにになりましたが、1年間ご愛読いただき有難うございました。来年度もよろしく願いいたします。